



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.3.7. No.4559.

第3回支部代表者会議開く (2/6)

3・19春闘 - ダイ改スト方針を決定!

幕張、貨物先頭に
全組合員がたちあがりろ!!

三月六日十八時より第三回支部代表者会議が開催され、九七春闘・三月ダイ改闘争勝利にむけた決戦段階での取り組みについて確認した。会議の冒頭中野委員長はいさつで次のように訴えた。「九七春闘をどう闘うのか、春闘を前にして日経連は労働研報告をうちだし、昨年毎年の春闘や横並び回答の見直しといった春闘解体論について、今年は大変革期を前に

して欧米とは違う第三の道をとえ、日本の労働者がつくりあげてきた闘いである春闘をやめさせようとしている。さらに大きな特徴は戦後の労働法制を根底からつぶす攻撃にできてきている。女性の深夜労働の規制撤廃、団交権の否定、職安法の改悪、裁量労働制の拡大、など規制緩和の焦点になっている。すでに労働大臣は労働法制の見直しを明らかに

にし、七月にも試案がだされようとしている。これに対し連合の側はこれに迎合し、私鉄は中央集団交渉をとりやめ、団結が崩されようとしている。こうした中で春闘は闘われようとしている。動労千葉は、第一にJR東・貨物とも三万八千円の要求で交渉しているが、旅客と貨物の格差問題に直面しようとする

している。貨物ではベア・ゼロがうわさされている。第二に三月二十二日のダイ改がある。貨物は佐倉の廃止、新小岩の派出化があり、幕張の構内と仕業の融合化がだされ、全面外注の第一歩になるようにしている。だから反合・運転保安の闘いとなり、反合春闘になる。第三に、分割・民営化十年のなかで最大の正念場・決戦の段階をむかえている。JR東労組は「国労解体」をうちだしている。組織攻防決戦下の春闘だ。

とくに昨年暮れ以降JR総連に矛盾がはじまっている。貨物での高崎、吹田、岡山などの脱退の頭在化や、東労組で長野、新潟、高崎などでつぎつぎと亀裂が生じ、十年目を前にしてJR体制にほころびが起きてきている。こうした中でストライキで闘う意義は大きなものがある。さらに団結をかためて、JR総連を解体していく闘いに全組合員が参加していこう。

- 97年春季闘争の獲得目標
- ① 97春闘勝利・貨物格差粉碎!
 - ② 3・22ダイ改合理化粉碎 - 運転保安確立!
* 佐倉機関区廃止・検修外注化阻止
* 幕張電車区における構内・仕業の融合化阻止
* 昨年12月ダイ改以降の懸案要求の実現
 - ③ 一切の不当労働行為の根絶!
 - ④ JR総連解体 - 組織強化・拡大!

- ストライキの配置について
- (1) 日時 3月19日
 - (2) 拠点・対象者及び時間帯
① 幕張電車区の全組合員。
(ただし、信号及び木更津派出所を除く)
* 日勤勤務者については、始業時より終業時まで
* 泊勤務者については、始業時より17時まで
② 貨物関係(新小岩・佐倉機関区)の地上勤務者。
* 日勤勤務者については、12時より終業時まで
* 泊勤務者については、12時より17時まで
③ 3月19日については、全組合員を対象として、時間外労働及び、所定以外の業務は一切行なわない。

- ストライキ当日の行動について
- (1) 千葉機関区支部(仮称)結成大会及び新小岩支部臨時大会
* 13時30分~千葉市民会館小ホール
 - (2) 動労千葉ストライキ総決起集会
* 14時30分~千葉市民会館小ホール
 - (3) 勤務以外全組合員は、13時、千葉市民会館に集合のこと。
 - (4) ストライキ突入集会については、各拠点に於いて開催すること。

つづいて田中書記長が、春闘をめぐる情勢やJR、ダイ改をめぐる状況の提起のあと、三・一九ストライキを中心とした闘いをはじめとする当面の取り組みについて提起した。その後参加者よりストライキや組織拡大について質疑争がなされたのち、九七春闘後に中野委員長が確認した。最終で支部代表者会議を終了した。